

2023 年度決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
Q 1 : 24 年度の事業利益は 1,300 億円の計画ですが、達成の蓋然性を教えてください。	A 1 : 量産系事業において、事業環境の変化は下振れ要因になりえますが、一方で受注系事業では多数のプロジェクトでリスクに備えた予備費予算を確保していることや、「調整額」にリスクバッファを含むことから、十分達成可能な水準と認識しています。
Q 2 : 22 年度から 23 年度の事業損益増減要因分析のうち、売上構成変動等に価格転嫁の効果が 200 億円含まれていますが、各セグメントの貢献状況を教えてください。	A 2 : 全セグメントにおいて価格転嫁の成果がありましたが、特に貢献が大きなセグメントはエネルギーソリューション & マリンとパワースポーツ & エンジンで、全体の半分程度を占めています。
Q 3 : 防衛省向けの受注高・売上収益について、23 年度の実績および 24 年度の計画を教えてください。	A 3 : 決算説明資料 44 ページに製品分野別に記載していますので、ご参考としてください。
Q 4 : 24 年度の防衛省向け受注高の計画は保守的な印象を受けますが、上振れする可能性はありますか。	A 4 : 受注確度の非常に高い案件を集計した予想値であることから、集計外の案件の受注により上振れする可能性は十分にあると考えています。
Q 5 : データセンターの増加や、生成 AI の急速な普及に伴うエネルギー事業への影響を教えてください。	A 5 : データセンター向けの非常用発電ガスタービンは、サーバーの処理能力効率化などの要求増によって需要増が顕著であり、設備の大型化の相談を含め、引き合いが増加傾向にあります。 また、データセンターや量子コンピューターの冷却用途として液化水素の適用可能性も高まっており、水素混焼・専焼ガスタービンの商機を探っていきます。
Q 6 : エネルギーソリューション & マリンの 24 年度業績が増収・減益の計画となっている理由を教えてください。	A 6 : 為替の前提を 23 年度比で円高に設定していることや、インフレに伴うコストアップおよび人件費の上昇を見込むことに加え、期初見通しには多数のプロジェクトで予備費予算が含まれているためです。

2023 年度決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答				
Q 7 : パワースポーツ&エンジンについて、24 年度の北米二輪およびオフロード四輪の市況環境および当社の見通しを教えてください。	A 7 : それぞれの方向感は以下のとおりです。 <北米二輪> 市場はコロナ禍前の19年度を上回る水準で成長・推移しており、24年度以降も緩やかな成長を見込んでいます。ただし、機種によって傾向が分かれ、オンロードモデルは、中小型のストリートタイプが堅調な一方で、クルーザータイプは減少傾向と認識しています。また、オフロードモデルはやや軟調に推移するとみています。当社は、オンロードモデルの新機種投入効果を見込み、23年度比で販売増を見込んでいます。 <北米四輪> 需要は底堅く、今後も市場の拡大傾向は継続すると見えています。モデル別では、レクリエーションモデルの需要が軟調で価格競争が激化している一方、ユーティリティモデルの需要は拡大しています。当社は、市場成長を上回る小売販売の成長が続いていることに加え、24 年度は新発売の RIDGE シリーズの効果やメキシコ新工場の稼働開始によるユーティリティモデルの生産増を見込み、23 年度比で大幅な販売増を見込んでいます。				
Q 8 : パワースポーツ&エンジンにおける四輪・PWC 事業の 24 年度業績は大幅な増収計画ですが、新発売の RIDGE シリーズはどの程度寄与しますか。 ※四輪・PWC 売上収益 <table border="1" data-bbox="159 1225 539 1316"> <tr> <td>2023 年度</td><td>1,806 億円</td></tr> <tr> <td>2024 年度</td><td>2,850 億円</td></tr> </table>	2023 年度	1,806 億円	2024 年度	2,850 億円	A 8 : RIDGE の販売計画台数は開示を差し控えますが、最大の増収要因となることを期待しています。
2023 年度	1,806 億円				
2024 年度	2,850 億円				